

2020年9月30日

「住友金属鉱山 統合報告書 2020」を発行

「世界の非鉄リーダー」への決意と持続可能な社会形成に向けた取り組みを紹介

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明）は、本日、「住友金属鉱山 統合報告書 2020」（日本語版）を発行しました。

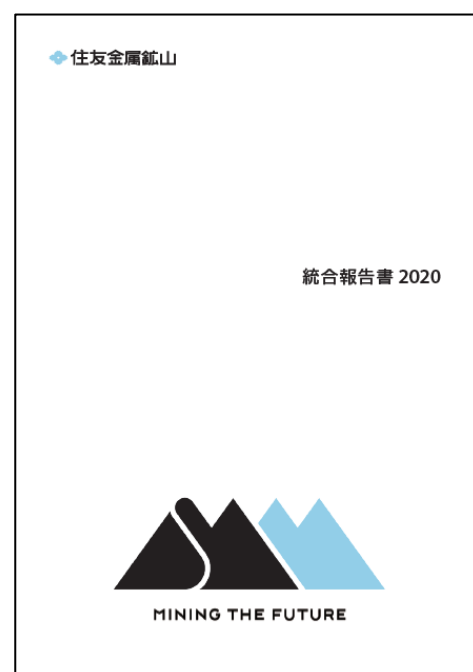
2016年より5回目の発行となる本統合報告書では、全編を通して、当社グループの長期ビジョンである「世界の非鉄リーダー」たる高い目標と決意を表明し、事業戦略のみならず、サステナビリティについてのコミットメントも示しています。

また、包括的に企業の価値創造のあり方を捉える「統合思考」に基づいた記載の改善を図るとともに、ESG情報の詳細は「ESG データブック 2020」として分冊化するなど、本編に掲載する情報の厳選によって、よりコンパクトでわかりやすいコミュニケーションツールとなることをめざしました。

【統合報告書（PDF）ダウンロード】

<https://www.smm.co.jp/ir/library/annual/>

※英語版は11月初旬発行予定



「住友金属鉱山 統合報告書 2020」表紙

■ 主な項目

① Introduction

当社グループの概要や非鉄金属産業を取り巻く環境について紹介しています。

② 住友金属鉱山グループの価値創造

特集1では、「世界の非鉄リーダー」の実現に向けたマイルストーンである「2030年のありたい姿」を取り上げ、11の重要課題に対するありたい姿やKPIについて説明しています。「価値創造プロセス」では、当社グループの価値創造モデルの特徴を明確化することを目的に、各プロセスの詳細をより定量化しました。さらに、「過去の中期経営計画の振り返り」では、過去2回の中期経営計画を振り返ることで、経営の連続性を表現し、長期的な視点で経営を評価しています。

③アクティビティ&レポート

資源・製錬・材料の3事業や研究開発における戦略、今後の取り組みについて説明しています。また、今年度は新型コロナウイルス感染症対応のうち、企業の社会的責任の観点から求められる対応についてコラムを掲載しました。

④価値創造を支える基盤

当社グループの価値創造を支える基盤として、コーポレートガバナンスやコンプライアンス、環境マネジメントや品質保証などに関する体制、取り組みについて説明しています。また、サステナビリティに関するデータで11の重要課題に関するものを掲載しています。

⑤財務・データ

過去11年間の主要な財務指標の推移や、直近の主要な財務諸表を掲載しています。

今後とも、当社グループがめざす「持続的な成長と企業価値最大化」への取り組みについて、ステークホルダーの皆様により一層理解を深めていただけるよう、コミュニケーションの深化に努めてまいります。

以 上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL : 03-3436-7705 Eメール : smm_koho@smm-g.com